



様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7年 6月 24日

豊 田 市 長 殿

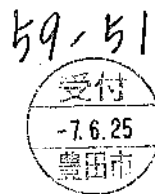
提出者 東京都中央区京橋1-19-11
住所 株式会社NIPPO
氏名 和田 千弘
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0565280957

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社NIPPO 豊田出張所		
事業場の所在地	愛知県豊田市山之手2-96		
事業の種類	建設業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	5235t	全処理委託量	5235t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	0t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	5235t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)



産業廃棄物処理計画実施状況報告書

年 月 日

豊 田 市 長 殿

提出者

住所 愛知県名古屋市中区錦一丁目19番24号

氏名 株式会社NIPPO 中部支店

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

執行役員支店長 藤田 将寛

電話番号 052-211-6571

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、2024年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社NIPPO 豊田出張所
事業場の所在地	愛知県豊田市山之手2-96
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日

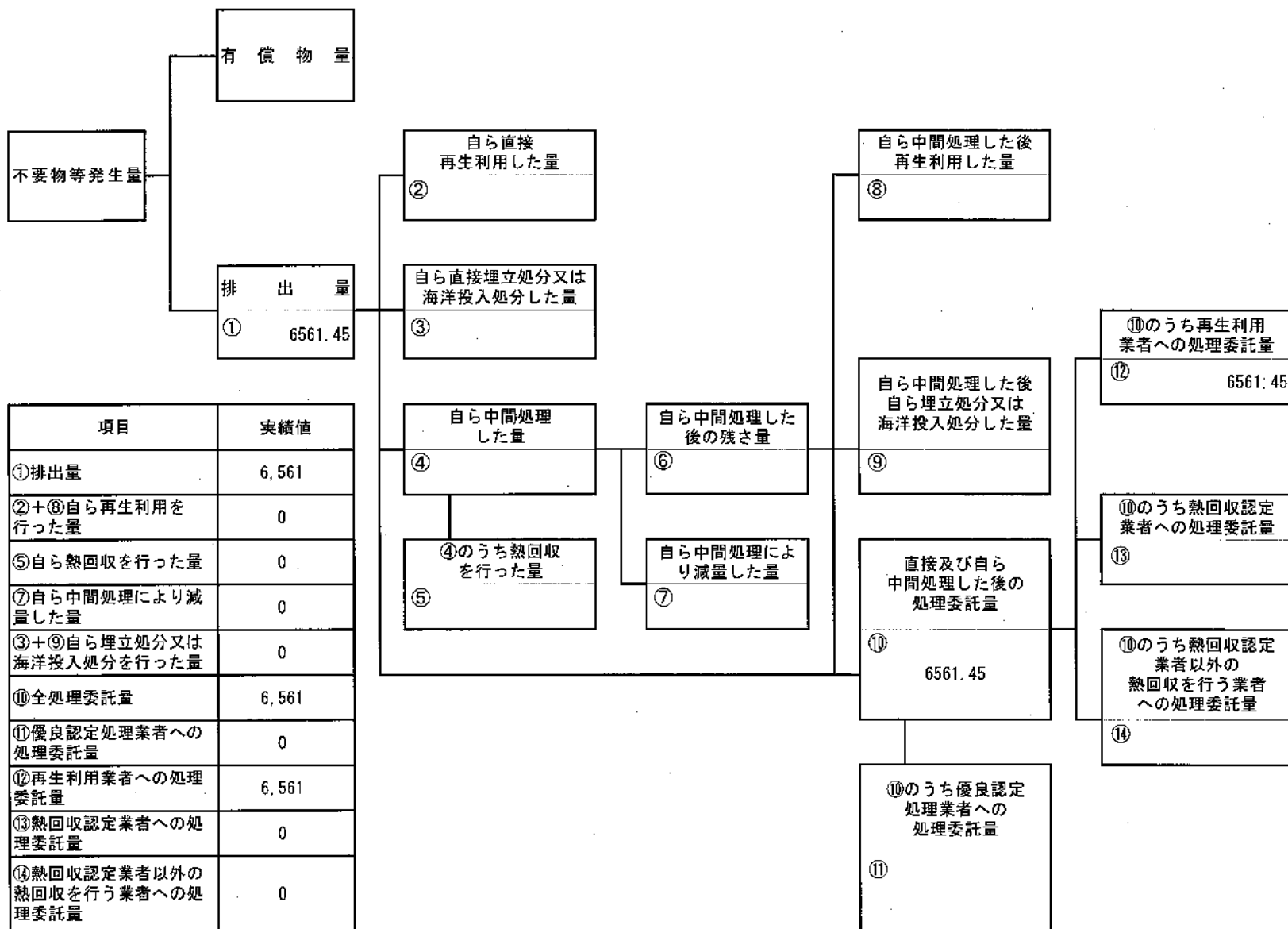
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	5235 t	全処理委託量	5235 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	5235 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

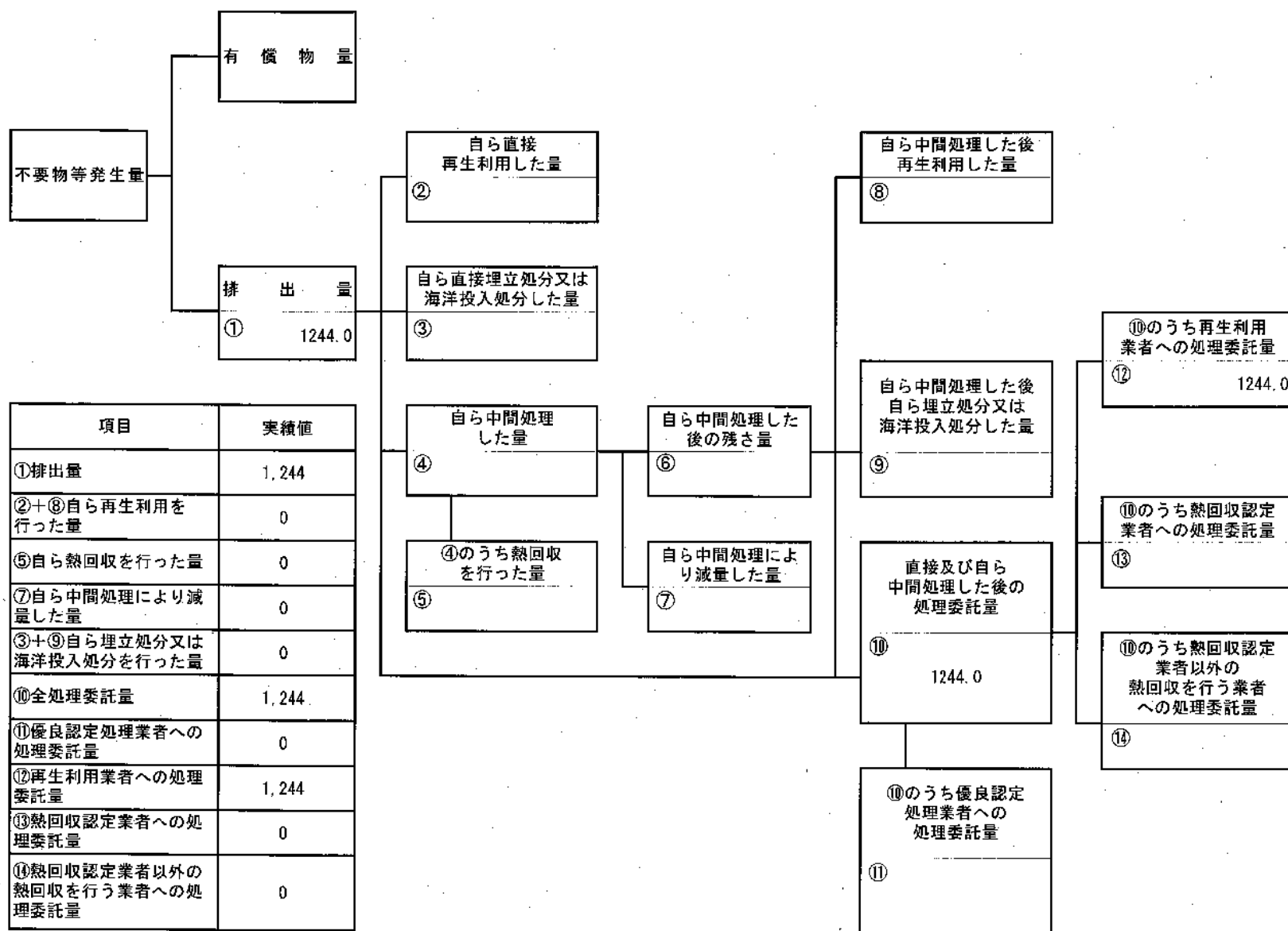
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: アスファルト塊)



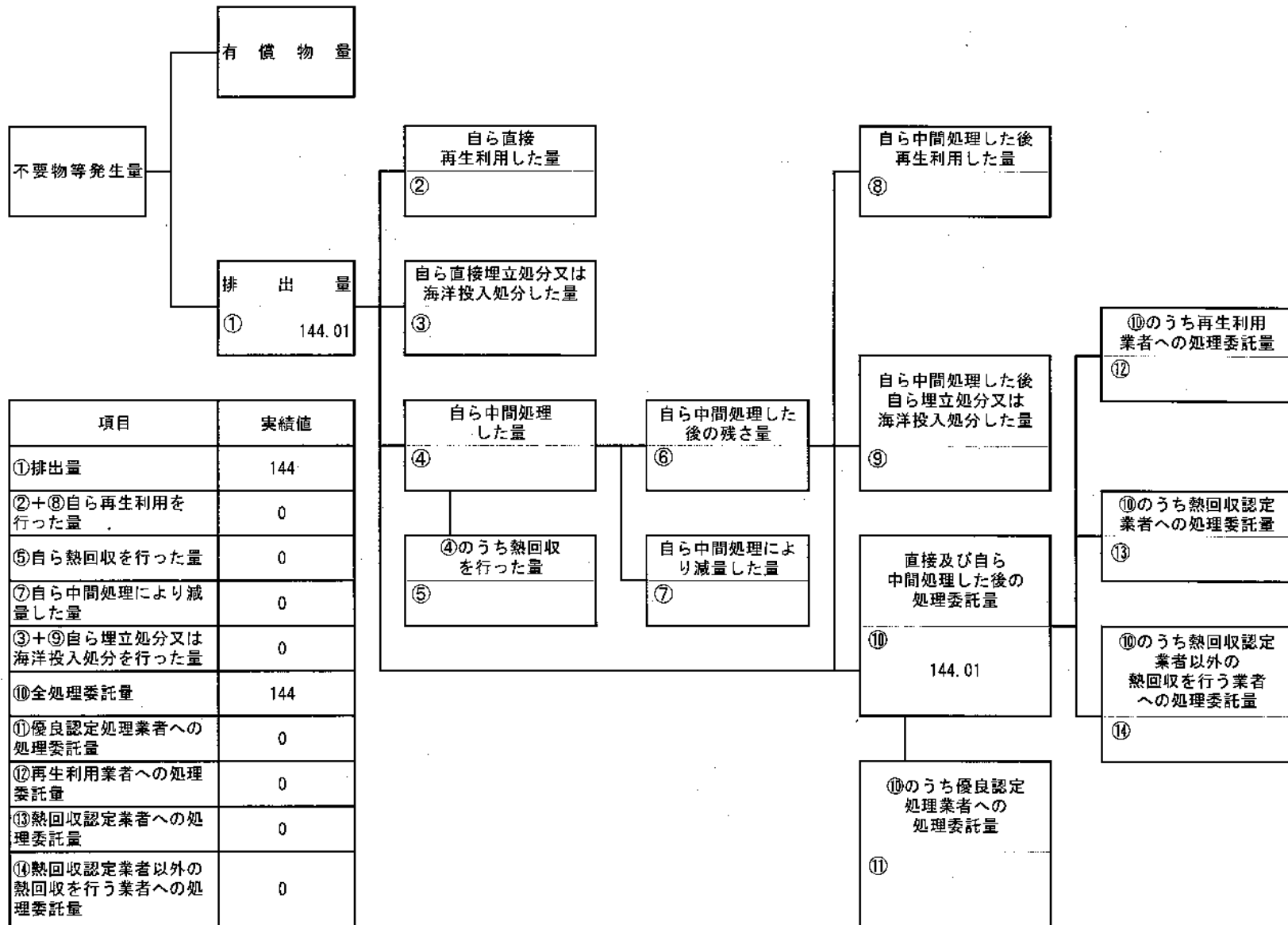
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: コンクリート塊)



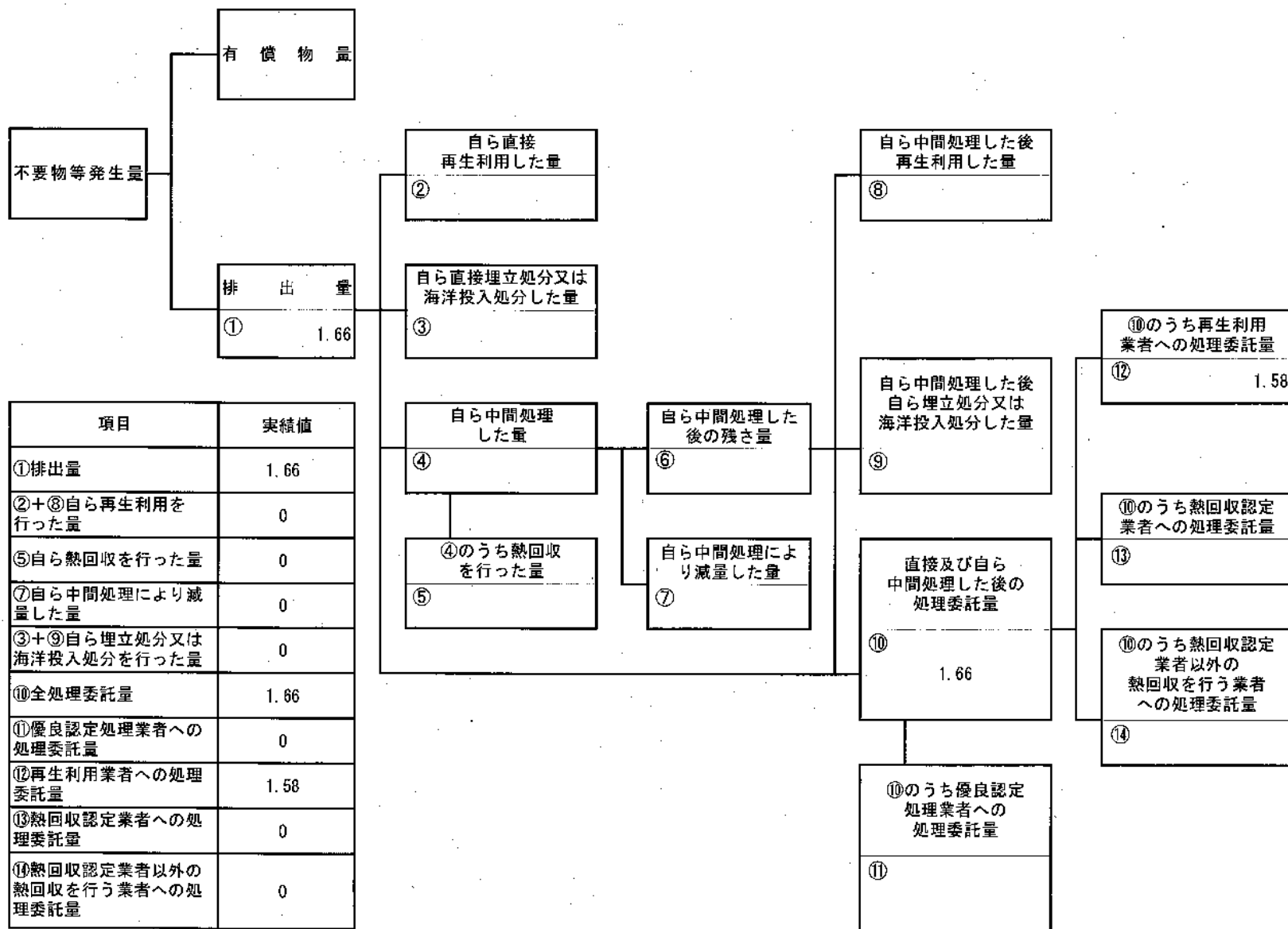
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：がれき類 (アスファルト (不純物混)))



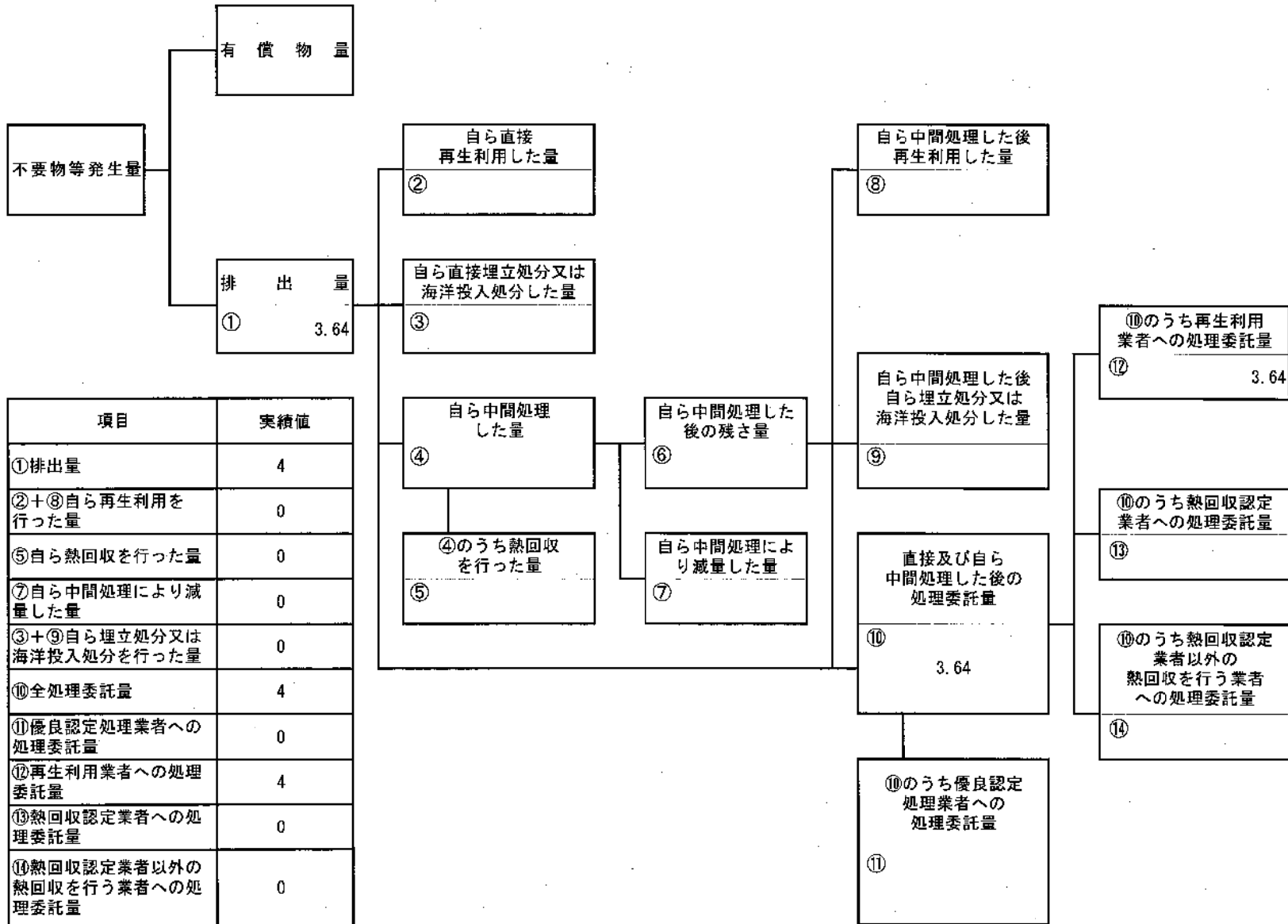
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：安定型混合物(コンクリート塊+廃プラスチック類+金属くず))



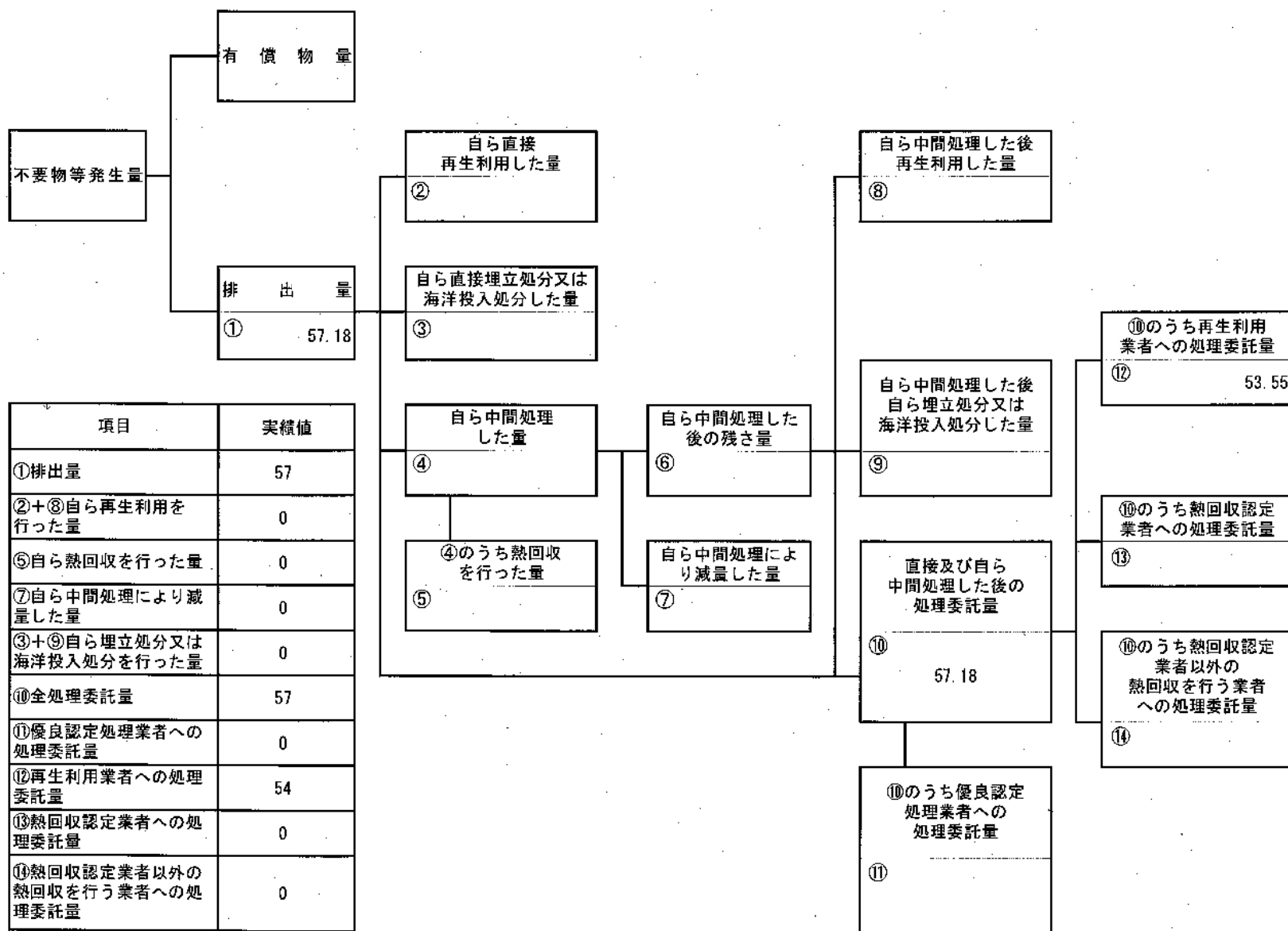
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 管理型混合物(紙くず+廃プラスチック類))



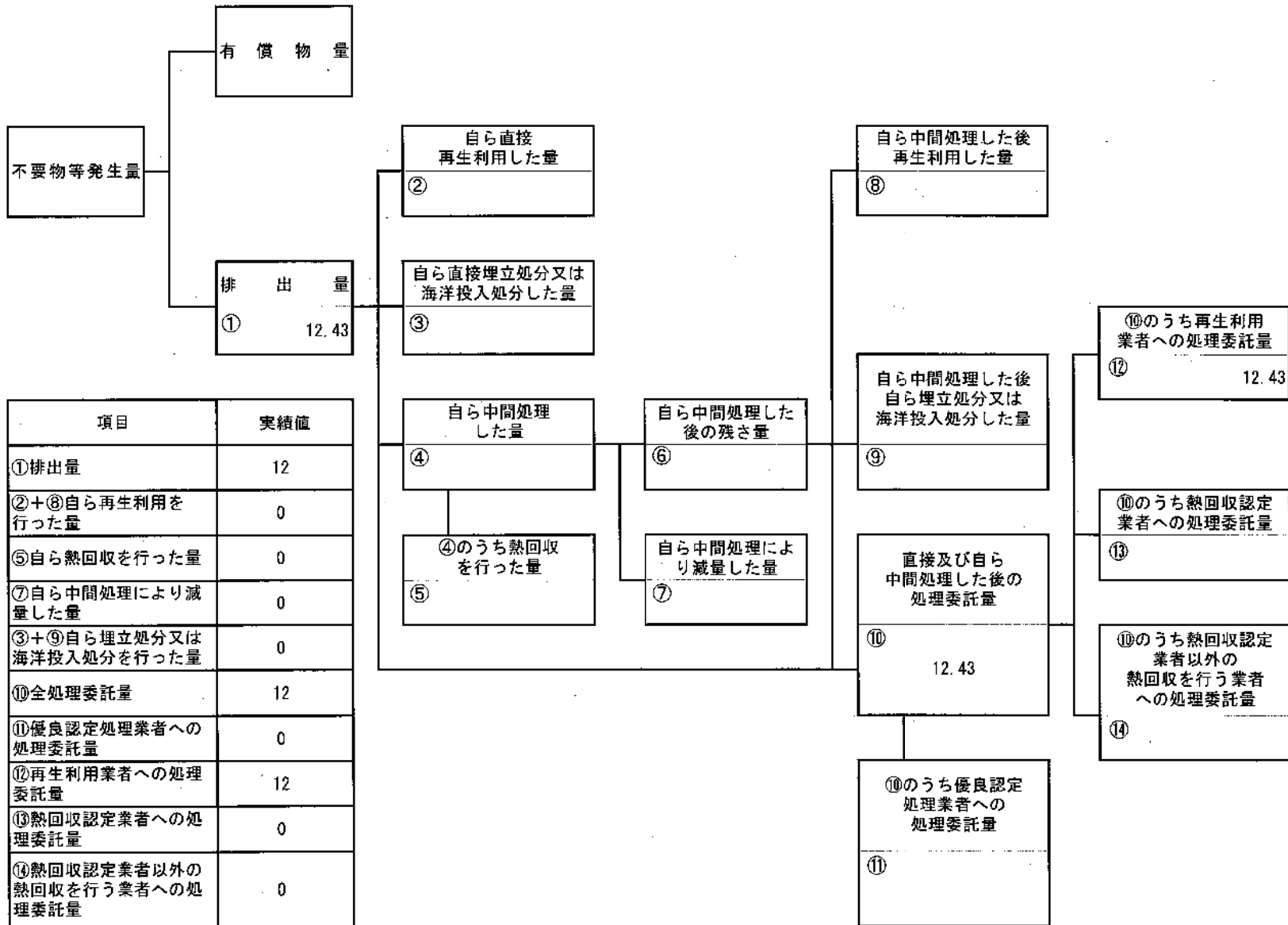
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 汚泥)



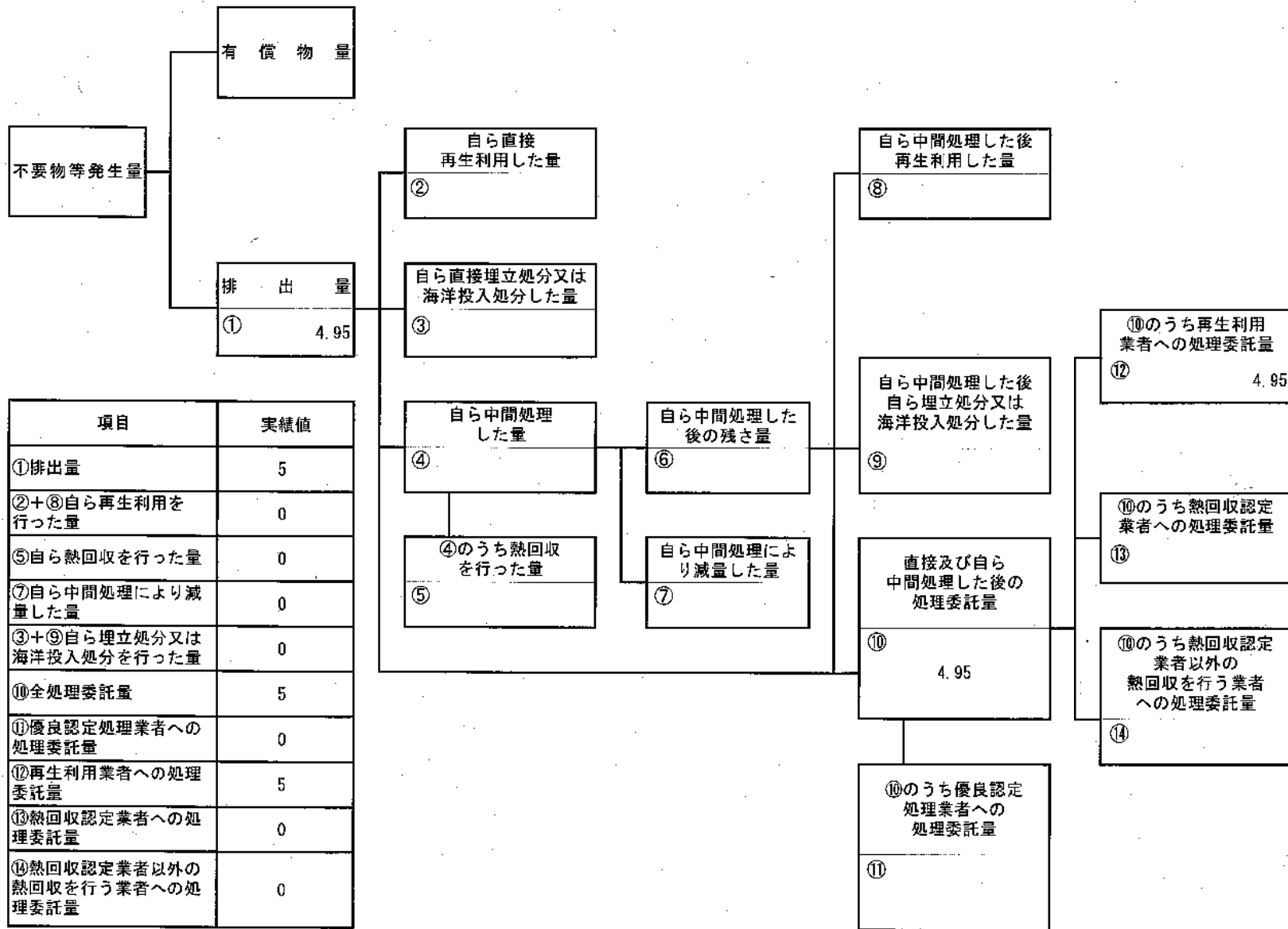
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 金属くず)



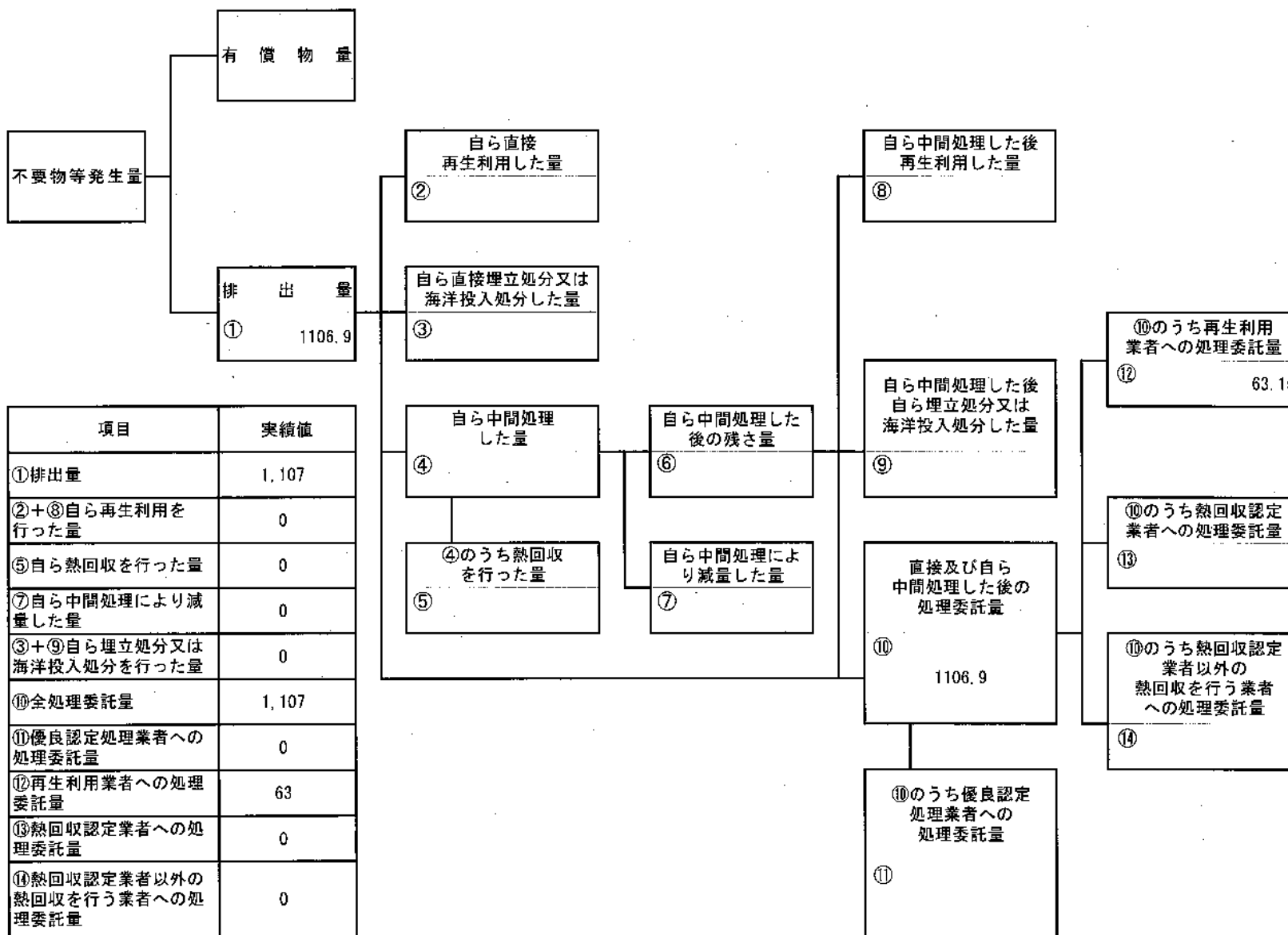
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 紙くず)



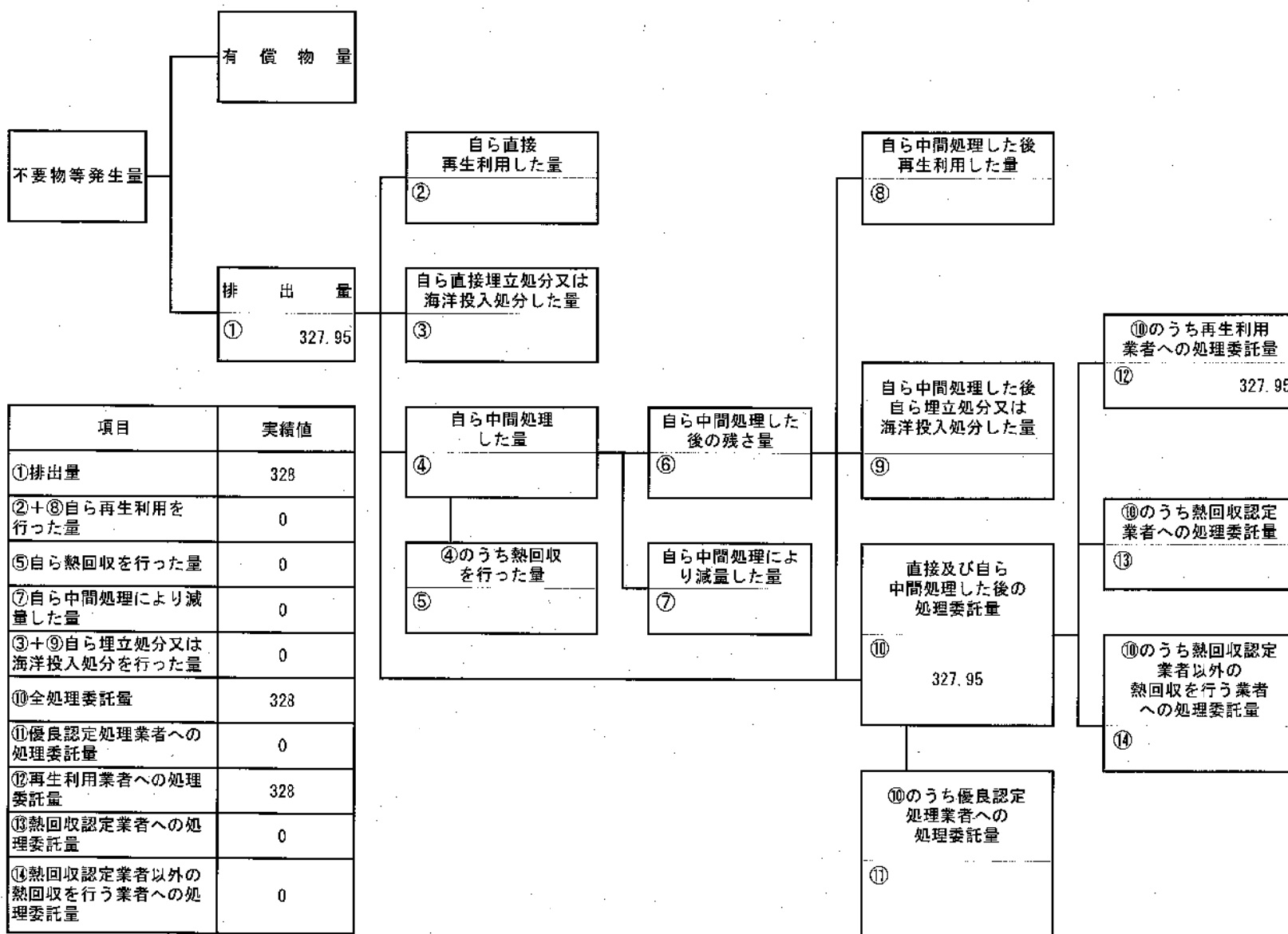
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず)



産業廃棄物処理状況調査票

(No. 1)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社NIPPO 豊田出張所	従業員数(人)	33(人)	前年度の3月31日現在の従業員数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。
記入者名	弘中 陸翔	当該事業所の元請完成工事高(万円/年)	190,691	建設業の場合記入。 愛知県内(政令市を除く。)で行われた工事の年間の元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。
連絡先	TEL: 0565-28-0957	当該事業所の製造品出荷額(万円/年)	—	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		がれき類 アスファルト塊	がれき類 コンクリート塊	がれき類 アスファルト (不純物混)	混合物 安定型 (コンクリート・灰・土・金)	混合物 管理型(紙・廃プラ)
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (年 度 実 績)	a 不要物等発生量(t/年)	6,561.5	1,244.0	144.0	1.66	3.6
	b 有償物量(t/年)					
	① 排出量(t/年) (①=a-b)	6,561.5	1,244.0	144.0	1.66	3.6
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)					
	再生利用用途	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量(t/年)					
	処理方法	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量(t/年) (⑦=④-⑥)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	⑥ 自ら中間処理した後の残存量(t/年)					
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t/年)					
	再生利用用途	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()	A・B・C・D E()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	○ 自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	d 直接処理委託量(t/年) (d=①-②-③-④)	6,561.5	1,244.0	144.0	1.66	3.6
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (⑩=c+d)	6,561.5	1,244.0	144.0	1.66	3.6
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量(t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量(t/年)	6,561.5	1,244.0	144.0	1.66	3.6
	処理方法	C	C	E(選別)	E(選別)	E(選別)
	g 委託中間処理により減量した量(t/年)					
	h 委託中間処理した後再生利用した量(t/年)	6,561.5	1,244.0		1.58	3.6
	再生利用用途	A	A	A・B・C・D E()	A	A
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)			144.0	0.08	
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	Ⓐ 県外	Ⓐ 県内	A 県内・B 県外
	j 再生利用量(t/年) (j=②+⑧+h)	0.0	0.0	0.0	1.58	3.6
	k 中間処理による減量(t/年) (k=⑦+g)	0.0	0.0	0.0	0.00	0.0
	l 最終処分量(t/年) (l=③+⑨+e+i)	0.0	0.0	144.0	0.08	0.0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A: 原料・材料 B: 燃料 C: 飼料・肥料 D: 建設材料 E: その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A: 焼却・溶融 B: 脱水・乾燥 C: 破碎・圧縮 D: 中和 E: その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。

産業廃棄物処理状況調査票

(No. 2)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	株式会社NIPPO 豊田出張所	従業員数(人)	33(人)	前年度の3月31日現在の従業員数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。
記入者名	弘中 陸翔	当該事業所の元請完成工事高(万円/年)	190,691	建設業の場合記入。 愛知県内(政令市を除く。)で行われた工事の年間の元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。
連絡先	TEL: 0565-28-0957	当該事業所の製造品出荷額(万円/年)	—	製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		汚泥	金属くず	紙くず	廃プラスチック類	木くず
項目						
前 年 度 計 画 の 実 施 状 況 (年 度 実 績)	a 不要物等発生量(t/年)	57.2	12.4	5.0	1,106.9	328.0
	b 有償物量(t/年)					
	① 排出量(t/年) (①=a-b)	57.2	12.4	5.0	1,106.9	328.0
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)					
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	④ 自ら中間処理した量(t/年)					
	処理方法	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑦ 自ら中間処理により減量した量(t/年) (⑦=④-⑤)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量(t/年)					
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t/年)					
	再生利用用途	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()	A・B・C・D E ()
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	c 自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	d 直接処理委託量(t/年) (d=①-②-③-④)	57.2	12.4	5.0	1,106.9	328.0
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (⑩=c+d)	57.2	12.4	5.0	1,106.9	328.0
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量(t/年)					
	埋立処分先	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外
	f 委託中間処理量(t/年)	57.2	12.4	5.0	1,106.9	328.0
	処理方法	B	C	C	C	C・E(選別)
	g 委託中間処理により減量した量(t/年)					
	h 委託中間処理した後再生利用した量(t/年)	53.6	12.4	5.0	63.15	328.0
	再生利用用途	A	A	A	A	A
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	3.6			1,043.75	
	埋立処分先	(B) 県外	A 県内・B 県外	A 県内・B 県外	(B) 県外	A 県内・B 県外
	j 再生利用量(t/年) (j=②+⑧+h)	53.6	12.4	5.0	63.15	328.0
	k 中間処理による減量(t/年) (k=⑦+g)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	l 最終処分量(t/年) (l=③+⑨+e+i)	3.6	0.0	0.0	1,043.75	0.0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A:原料・材料 B:燃料 C:飼料・肥料 D:建設材料 E:その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A:焼却・熔融 B:脱水・乾燥 C:破砕・圧縮 D:中和 E:その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右上No.欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。